

山科経済同友会は、緑豊かな山科・醍醐地域において、経済文化の発展と地域社会の繁栄を願い、昭和四十四年（一九六九）に地区唯一の経済団体として発足しました。発足以来、地域の経済及び文化の振興発展に関する事業等を精力的に行ってまいりました。その一環として、山科区制四〇周年を迎えた平成二十八年（二〇一六）より実施しているのが「山科検定」です。山科の歴史、文化、産業等への理解を深め、山科への愛着を一層醸成し、山科の魅力を未来を担う若い世代へ継承することを目的に行っており、大変好評でありましたので、以降毎年「山科検定」を実施しております。このほかにも、様々な関係機関と連携した地域振興に注力してまいりました。

そして令和元年は当会が設立五〇周年を迎えた記念すべき年でもあり、これを機に、多くの皆様に、山科への理解をより深め、郷土愛を一層培っていただきたいとの思いから、五〇周年記念事業の一つとして、本書を刊行することといたしました。

山科の歴史は古く、縄文時代からの足跡が残されています。天智天皇陵をはじめ、平安時代から存在する門跡寺院、中世に「莊嚴ただ仏の国の如し」と称されるほどの寺内町を築いた山科本願寺跡、旧東海道の遺跡や赤穂義士の隠棲にまつわる史跡、明治の近代遺産・山科疏水など、数多くの歴史遺産に恵まれています。

本書は、こうした縄文時代から現代にいたるまでの魅力あふれる山科の歴史について、最新の研究成果に基づいてまとめた大変意義のある一冊となっております。刊行にあたっては、京都橘大学 田端泰子先生・細川涼一先生をはじめ、多くの先生方に御執筆の労をお取りいただきました。また、山科区役所にも実務の面で

御協力をいただきました。ここに厚く御礼申し上げます。

本書が山科の魅力を次世代へ継承し、地域の発展の一助となれば、幸いです。

一般社団法人山科経済同友会会長 川中長治